

2023 第10回 日本オカリナコンクール 要項

オカリナを愛する皆様へ

2014年に第1回を開催してからあっという間に10回目を迎えることとなりました。その間多くの出場者の皆さんの熱意、後援・協賛の団体、企業様がたのお力に支えられなんとかたどり着くことができました。近年は新型コロナウイルス感染拡大のことがあり、やむなく動画審査としておりましたが、第10回は動画審査のコンクールに加えてホールでの実演による「第10回記念ガラコンサート」も計画いたしました。今まで同様にサークルや教室を運営なさっている方々、楽譜や楽器を扱っておられる各社の方々にもお知恵、お力を貸していただけますようお願い申し上げます。

日本オカリナコンクール実行委員会 委員長 小林理子

主催 日本オカリナコンクール実行委員会

後援 公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団

協賛 団体 オカリナほうむべえじ・鶴見オカリナふれあい協議会(横浜)・中部オカリナ協会・徳島オカリナの会
公益財団法人生涯学習かめおか財団・南大阪オカリナフェスタ実行委員会・えひめオカリナ協会
滋賀県オカリナ協会・山梨オカリナ連盟・北のオカリナ同好会・Viva!! Ocarina 北海道
ふくいオカリナフェスティバル実行委員会 (以上、ガラコンサートと両方)

企業 アルソ出版株式会社・株式会社ドレミ楽譜出版社・株式会社アケタ・さくら工房・トヤマ楽器製造株式会社
有限会社林楽器商会・株式会社プリマ楽器/トート音楽院・LOBO Brothers Corp.・株式会社テレマン楽器
三木楽器 Wind Forest・JEUGIA 三条本店 APEX・株式会社 STUDIO fiato・スタジオノベルノート
Fabio Menaglio (イタリア) (以上、ガラコンサートと両方)

審査員

池上 敏 作曲家
石若 雅弥 作曲家 合唱指揮者
エミリアーノ・ベルナゴッツィ Gruppo Ocarinistico Budriese リーダー
小林 達夫 スイートポテトオカリナ合奏団 主宰
嶋 和彦 浜松市楽器博物館 前館長
橋詰 智章 演奏家 相愛大学音楽学部講師
(50音順、敬称略)



1) 部門の構成

- 1) 独奏部門 一般の部 / シニアの部 (65歳以上)
- 2) デュエット部門
- 3) 合奏部門 (オカリナ奏者3人以上)

2) 演奏曲

- 1) 独奏部門 一般の部 課題曲および自由曲1曲
シニアの部 課題曲および自由曲1曲
- 2) デュエット部門 自由曲2曲以内
- 3) 合奏部門 自由曲2曲以内
全部門とも1ステージ6分以内に制限します。

3) 参加資格

日本に居住するもの。海外からの参加(英語対応のみ)は主催者の承認が必要です。
中学生以下の(大人が共演しない)参加は主催者の承認が必要です。
同一部門内および独奏とデュエット両部門間での重複出演はできません。(独奏と合奏、デュエットと合奏は可)
独奏部門シニアの部は2023年末で満65歳を超えておられる方のみが資格があります。
全部門とも無伴奏、伴奏有りは自由です。また伴奏者、指揮者については重複出演やシニア資格の制限はありません。

4) 独奏部門(一般の部、シニアの部) 課題曲について

一般の部 ホームページに掲載の楽譜「ちょうちょう変奏曲」を演奏します。よく知られている曲ですが、原曲とされている「かわいいハンス」のさらに元歌「狩の歌」を参考にしていますので、「ちょうちょう」とは少し音が違います。もう少し詳しい「課題曲演奏のためのガイド」を、ホームページに掲載いたします。

シニアの部 ホームページに掲載の楽譜「海に来たれ」を演奏します。イタリア(ナポリ)民謡としてよく日本でも愛されています。テンポ指定は目安と捉えてください。また、歌うときのように適度なテンポの伸び縮みが望ましいです。もう少し詳しい「課題曲演奏のためのガイド」を、ホームページに掲載いたします。

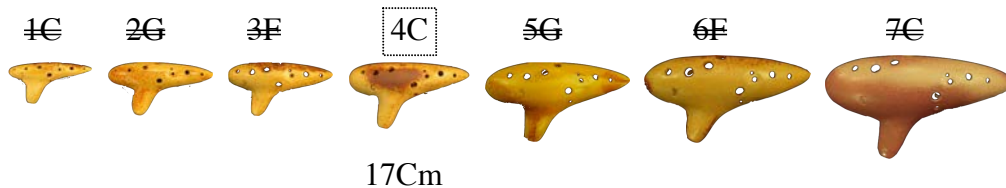
5) 課題曲の音高について

一般 C管で、開始音のレはピアノの中央ドの2オクターブと2度上のレから始めます。

シニア C管で、開始音のドはピアノの中央ドの1オクターブ上のドから始めます。

上下オクターブの移調やF,G管などを使っての移調演奏は不可です。

(楽器の種類はメーカーごとにソプラノやアルトという呼び名が違うので名前での指定が出来ません。多分一番良く使われているC管の全長15~20センチくらいのもので、下図4C相当の楽器の事です。)



6) 課題曲での使用楽器について

伝統的なイタリアンスタイルにならった楽器で音孔数は最少10、最多で13とします。丸形や複管の使用は認められません。材質は陶磁器によるものとし、合成樹脂製や木製、金属製などは認められません。

7) 自由曲の(編曲)著作権について

自由曲で演奏する楽曲(の楽譜)は、日本の著作権法に適合していることが必要です。

- ①オカリナ用の市販楽譜であり、音の上げ下げやカットなどの改変をせずに演奏する。
- ②他の楽器(声楽を含む)用の市販楽譜であるが、音の上げ下げやカットなどの変更をせずに演奏する。(フルートやヴァイオリン、声楽曲などの時はオクターブ上がりになってしまうことが多いので注意)
- ①②のどちらにも当たらない時は必ず出版譜の著作権者から「編曲使用」の許諾を得ておいてください。

(クラシック曲で曲自体の著作権は保護期間終了であっても、出版譜の著作権が有効な時、改変に当たっては許諾が必要です。海外出版譜の場合は一般的に手続きに時間がかかることが多いです。)

お問い合わせはメールのみにて受け付けます、**電話不可**。ただし事務局では著作権に適合しているかどうかについて、調べ方のアドバイスはできますが、お答えができない場合もあります。自由曲に関して著作権上の問題が発生した時は、参加者の責任においてクリアしてください。

8) P.A.の制限

オカリナのP.A.使用やリバーブ、エコー類の使用は認められません。

9) 伴奏について

生伴奏に限ります。オカリナ奏者より多人数の伴奏は認められません。

課題曲の伴奏付けは認められません。

10) 応募、審査、発表の流れ

①申し込み

「日本オカリナコンクール参加申込書」と楽譜のコピー(改変有無の確認のために全ページ分が必要です)を事務局に送付して下さい。申込書や楽譜はスキャンデータやカメラ画像でメールに添付も可。(Faxは不可)

申し込み確認書を返送します。

参加費を下記口座にお振り込みください。(口座振込のみです)

申し込み内容の記載不備、添付楽譜の不備、参加費の不足などがあるときはそれらが解消するまで申し込み完了となりません。

受付開始 2023年7月24日(月) 締切 2023年9月1日(金)

期限前に一定数(目安=50組)に達した場合は締めきることがあります。(申し込み完了順)

②動画の提出

後日送付の「動画提出についての案内」に従って期限までに演奏動画を提出してください。(郵送またはインターネット経由で送付)提出の締め切りはだいたい9月中頃の想定です。(案内に従ってください)

③審査

審査員が集まり動画を再生し審査採点します。(10月初旬の予定、非公開です。)

(エミリアーノ氏につきましてはリモート審査となります)

④発表

ホームページ(経由YouTube)上にて全部の応募動画を公開し、同時に受賞結果を発表いたします。

(10月中~下旬の予定)全員に個評が送られます。入賞者には賞状が贈られます。(参加申し込みによって、応募動画の公開に同意されているものといたします)

11)表彰

各部門 1位、2位、3位

1位の中で特に優秀と認められる者にはグランプリ(副賞10万円)が与えられます。

1位受賞者は10/29開催の「第10回記念ガラコンサート」出演枠へ招待されます。

12)参加費(1ステージあたり)

イ)独奏部門 1万円(無伴奏、伴奏有りとともに) □)デュエット部門 1.5万円(無伴奏、伴奏有りとともに)

ハ)合奏部門(3~5人の時)1.5万円 二)合奏部門(6人以上の時)一人3,000円(最大3万円)

ハ)二)ともに伴奏者、指揮者も人数に含まれます。

申込、問い合わせ先

〒561-0885 大阪府豊中市岡町 3-1-801 Tel. 080-6131-4657 日本オカリナコンクール事務局

e-mail アドレス info@ocacon.com

ホームページ https://ocacon.com

参加費振り込み先

ゆうちょ銀行 記号 14170 番号 88102701 □座名義 日本オカリナコンクール
(他金融機関からの振込の場合は 店名:四一八 店番:418 普通預金 番号:8810270)

必ず「どの参加者からの振り込みか」が分かるように振り込んでください。



↑ここまでが第10回日本オカリナコンクール(動画審査)の募集要項です。↑

↓ここからは「第10回記念ガラコンサート」についての内容です。↓

2023年は第10回コンクール(動画審査)に加えて「日本オカリナコンクール第10回記念ガラコンサート」を開催いたします。これは開催10回目を記念して過去の受賞者の方達をお招きして、アイフォニックホールで腕をふるっていただき、お客様に生のオカリナを楽しんでいただくという企画です。ぜひご参加、ご来場をお待ちしております。

日程 2023年10月29日(日曜日) 開場13時 開演13:30 終演18:00

(時間は出場組数に合わせて前後する可能性があります。必ずご来場前にホームページでご確認をお願いします。)

会場 伊丹アイフォニックホール メインホール

主催 日本オカリナコンクール実行委員会

後援 公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団

協賛 第10回コンクールにご協賛の各団体、各社

出演 過去の入賞者の方々(有志)、オープン参加のプレイヤー
ゲスト演奏 エミリアーノ・ベルナゴッツィ
スイートポテトオカリナ合奏団

入場料 2000円 全席自由(子ども料金の設定はありません、未就学でも静かに聞くことのできる方はご入場いただけます。)

発売日 2023年8月1日

取扱店 伊丹アイフォニックホール

アケタの店(東京)、三木楽器 Wind Forest(大阪)

JEUGIA 三条本店 APEX(京都)、テレマン楽器(兵庫)

コンクールのホームページからもチケットをお申し込みいただけます。



出演のお申し込みは6月1日受付開始です。

過去の受賞者(第1~9回の1,2,3位、聴衆賞・審査員奨励賞も含む。デュエットは兩人とも、合奏は半数以上が受賞時メンバーのこと)

2023年6月30日(金)までに「ガラコンサート出演申込書」を作成し、名前(団体はメンバー名も)、演奏曲(10分以内)、自薦の紹介文、連絡先、を記入して郵送またはメールで送ってください。所定の書式はありません。

参加費は無料です。応募多数の時は選考にて一定数とさせていただきます。

オープン参加ご希望のプレイヤー(コンクール受賞歴にかかわらず、参加していただけます。ロビーにての物販も可)

申し込みは上記と同様です。参加費は1ステージ1万円です。こちらも応募多数の時は選考にて一定数とさせていただきます。

過去の受賞者、オープン参加ともに出演の可否は7月初めにお知らせいたします。

↑ここまでが「記念ガラコンサート」についての内容です。(出演申し込み書は自作をお願いします) ↑

↓以下はコンクール専用の申し込み用紙です。↓

参加部門	独奏 一般の部		デュエット	合奏
	独奏 シニアの部			
演奏者 (伴奏者含む) 数 _____ 人			参加費 ¥ _____	
ふりがな				
名前 (又は団体名)				
連絡先	〒 _____			氏名 _____
電話	自宅 _____		携帯 _____	
メール	PC _____		携帯 _____	
伴奏の有無	無伴奏	伴奏有り 氏名 _____		伴奏楽器名 _____
自由曲 1 (課題曲と合計で 6分以内です)	曲名 _____			この曲の演奏時間 分 秒
	作曲者名 _____		編曲者名 _____	
	楽譜 (曲集) の出版名称 _____		出版社名 _____	
自由曲 2	曲名 _____			この曲の演奏時間 分 秒
	作曲者名 _____		編曲者名 _____	
	楽譜 (曲集) の出版名称 _____		出版社名 _____	
デュエット、合奏の出演者氏名 (ふりがな) _____				

全ての項目をもれなく記入または抹消のこと。複数部門への参加は2枚にして下さい。

以下該当項目に全て必ずチェックをしてください。

申し込み書は 郵送 メール

提出楽譜 (全ページ) は 同封 メールに添付

編曲使用の許諾は 不必要 オカリナ用の市販楽譜※1 他楽器用の市販楽譜※1 著作権消滅曲※2

※1 音の変更などの改変をしていないこと ※2 楽譜も著作権消滅であること

得ている 許諾の書類 (許諾済みの申請書やメールの写し) を添付してください。

- メールでの申し込みについては返送書類 (イラストを含む) もメールで送りますので、ガラケーからの申し込みは避けてください。
- 動画収録についてはホールや特別な機材ではなく、ご自宅にてお手持ちのデジカメ、ビデオ、スマホ動画でも結構です。機材による画質や音質の差は評価の対象としません。
(ただし、音声のアテレコ合成やつなぎ修正、などにつきましては厳しくチェックし、減点対象または失格とします)
- 提出動画は 2023 年 5 月以降に、このコンクールのために撮影されたものを対象とします。